

間質性肺炎の急性増悪で受診された (ステロイドパルス治療を受けられた) 患者さんへ

成田赤十字病院では下記の研究を行っています。

この研究は、成田赤十字病院倫理委員会の審査を受け、院長の許可を得て行っているものです。

1. 研究課題名

間質性肺炎急性増悪におけるプレセプシン測定の有用性
～臨床データが示す特発性肺線維症と膠原病関連間質性肺疾患の免疫学的特徴の違い～

2. 研究の対象となる方

2023年4月～2025年7月に当院で間質性肺炎の急性増悪でステロイドパルス治療を受けられた方

3. 研究の目的

この研究では急性増悪した間質性肺炎の患者さんの中で、プレセプシン測定の有用性について調べることを目的としています。

4. 研究の方法

この研究では、診察の時に検査した以下の項目を含めた電子カルテの情報を使用します。
Presepsin, LDH, CRP, SP-D

5. 研究期間

2025年8月1日～2026年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、バイタル
試料：血液

7. 院外への試料・情報の提供

本研究は当院のみで行われる研究のため、当院外へ試料および情報の提供はありません。

8. 個人情報の保護について

この研究にご参加いただいた場合、研究を通じて得られた患者さんの記録が学術雑誌や学会、当院内の発表会等で発表されることがありますが、研究を通じて得られた患者さんの記録は、個人情報保護のため匿名化され、番号等 個人が特定できない形式により管理されます。

9. 研究への不参加の自由について

試料・情報がこの研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方

から不参加のお申し出があった場合は研究対象としません。不参加のご判断をされた場合は下記の「連絡先」までお申出ください。（不参加のお申し出があった場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。）

但し、学会等や論文で発表した後など、不参加の意思を表明した時期によっては情報の削除ができない場合もありますのでご理解ください。

10. 研究組織等

【研究組織】

研究責任者：成田赤十字病院 初期臨床研修医 萩原 芽子

研究分担者：成田赤十字病院 呼吸器内科 竹下 友一郎

【研究実施医療機関の長の氏名】

成田赤十字病院 院長 青墳 信之

11. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究における開示すべき利益相反はありません。

12. 連絡先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

成田赤十字病院

研究責任者：初期臨床研修医 萩原 芽子

住 所：〒286-8523 千葉県成田市飯田町90番地1

電 話 番 号：0476-22-2311（代）

以上